

## たんに血が混じりました

## どのようなことが考えられますか？

痰(たん)に血液が混じっている場合を血痰(けったん)、ほどんどが血液そのものである場合を喀血(かっけつ)と一般に呼んでいます。口から血が出た場合、出血した可能性のある部位としては、鼻の中・口の中(歯肉・舌等)・のどからの出血(咽頭・喉頭)や気管支・肺からの出血、もしくは吐血(とけつ)といった食道や胃からの出血が考えられます。

血痰は、通常、せきをしたときにたんと一緒に排出されます。血痰や喀血は鮮紅色の出血であることが多く、吐血は嘔吐とともに食べ物が混じった暗赤色の出血のことが多いといった違いがあります。血痰が認められた場合は肺がん、肺結核、非結核性抗酸菌症、気管支拡張症、肺炎、肺アスペルギルス症、肺梗塞、心不全など色々な原因が考えられます。また抗凝固薬(血をサラサラにする薬)を飲まれていると、血が固まりにくくなり出血しやすいと考えられます。

## どのようにしたら良いですか？

血痰は左記のようにさまざまな病気が原因となりますので、医療機関への受診をお勧めします。医師にて問診・診察され出血源を探ることとなります。鼻の中・のどからの出血であれば「耳鼻咽喉科」の専門家へ、血痰・喀血であれば「呼吸器科」へ、吐血であれば「消化器科」に紹介されるでしょう。

血痰の診断のために、たんの検査、血液検査、胸部エックス線画像等が行われます。さらに必要であれば胸部CT撮影や気管支鏡検査にて精査を行います。

診断がつけば原因の病気に対し根本的な治療を開始していきます。例えば肺炎・肺結核といった感染症であれば抗菌薬や抗結核薬の投与が行われることとなり、肺がんであれば手術・抗癌剤治療・放射線治療等が考慮されることとなります。

それまでの間は対症療法として安静にして止血剤投与が行われます。

MEMO

日本呼吸器学会では学会ホームページにて「市民のみなさま向け」に様々なコンテンツを公開しています。ぜひご覧ください！



## 呼吸器の病気

Respiratory disease

『疾患別』に症状や、診断・治療方法を解説しています。

## 呼吸器

Q&A



『症状から』対応方法などをQ&A形式でお答えします。

※ここに書かれている内容は、あくまで一般的なものであり、必ずしも貴方の病気にあてはまらない事もありますので、この内容を参考にし、呼吸器の専門医の診察を受けてください。

日本呼吸器学会  
ホームページ

[www.jrs.or.jp/](http://www.jrs.or.jp/)